

令和7年度「せたがや会議～みんなで考える多文化共生のまち～」

(外国人・日本人区民による意見交換会)

実施報告

1. 目的

国籍を問わず誰もが暮らしやすい多文化共生社会の構築に向けて、区民同士で日頃から感じていることを意見交換し合うことで、課題や情報を共有し、問題についての認識を深めるとともに、参加者同士の交流機会創出を目的とする。

2. 開催日時

令和7年12月6日（土）午後2時～午後4時30分

3. 開催場所

三茶しゃれなあとホール（オリオン）（世田谷区三軒茶屋1-41-10）

4. テーマ

「いろいろな人が出会い、知り合い、つながり合うためには？」

様々な言語・文化を持つ人々が地域の行事や活動により一層関わっていくにはどうしたらよいかをグループで考え、意見交換を行う。

5. 参加者数

計22名 ※公募による

(1) 外国人区民10名

(2) 日本人区民12名

6. 全体コーディネーター及び協力者

(1) 講師：吉田 千春氏（中央大学法学部助教／イクリスせたがや代表）

：柳 定賢 ジャスミン氏（東京大学グローバル教育センター講師）

(2) グループファシリテーター：大学生等による学生ボランティア10名

（上智大学院、上智大学、中央大学、日本大学）

(3) 通訳：中国語1名 英語3名

※通訳希望のあった参加者のいるグループのみ配置

7. 「せたがや会議」の流れ

| 時間 | 内容 |
|--------|----------------------------------------------------------------|
| 14:00～ | 開会、講師の紹介など |
| 14:15～ | アイスブレイク (ビンゴ、自己紹介) 意見交換 (いろいろな人が出会い、知り合い、つながり合うためには?) |
| 16:05～ | 意見交換の共有、まとめ |
| 16:30 | 閉会 |

当日の活動の様子



アイスブレイク



各グループでの意見交換



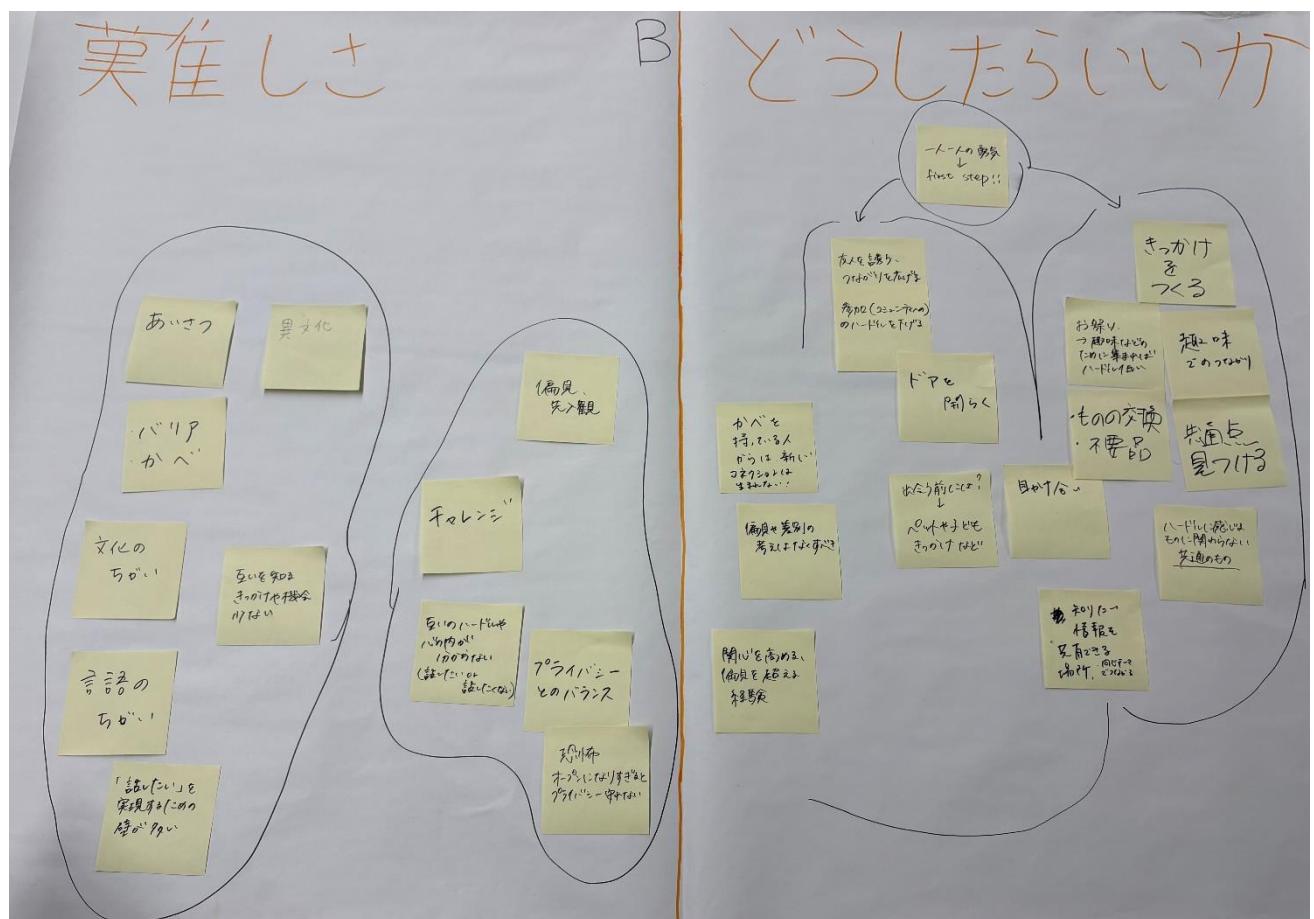
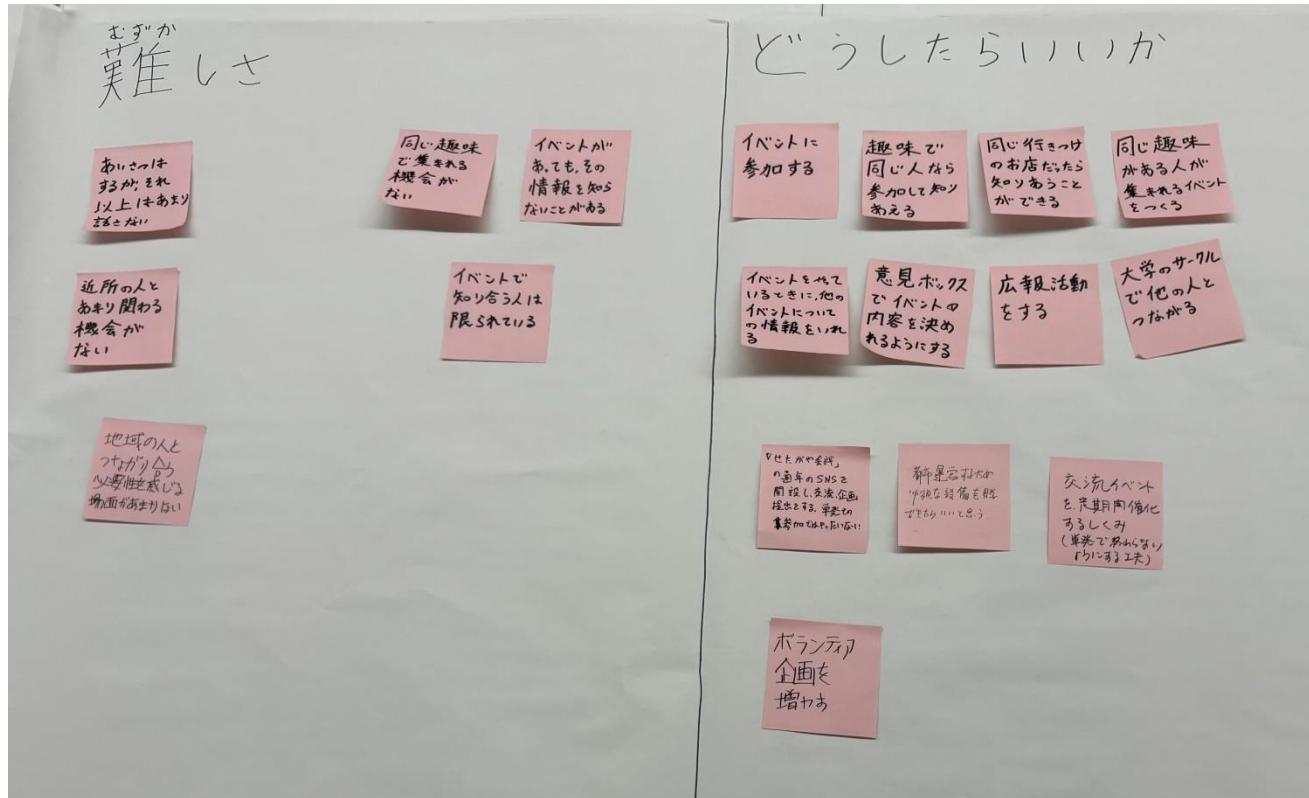
各グループでの意見交換

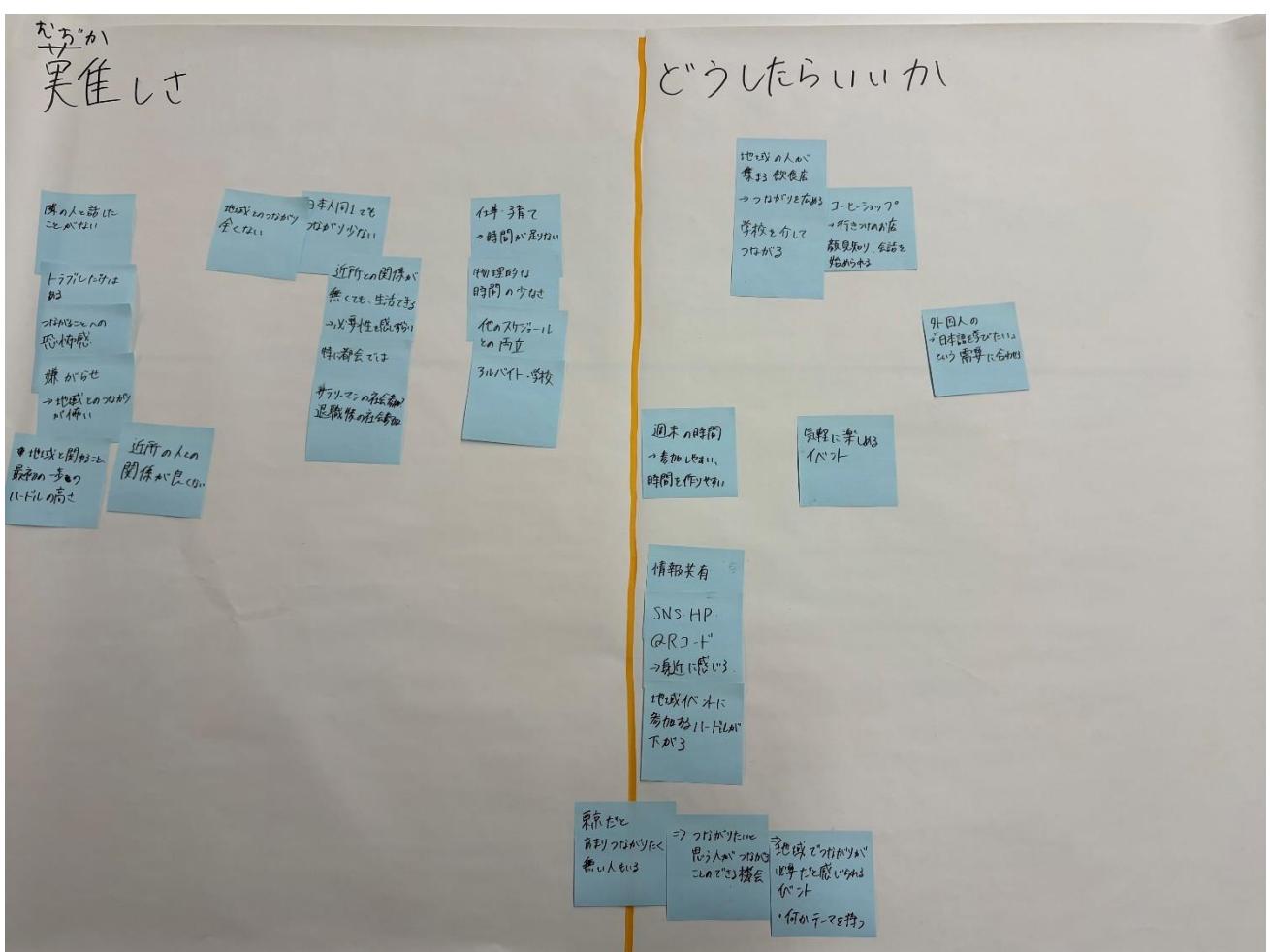
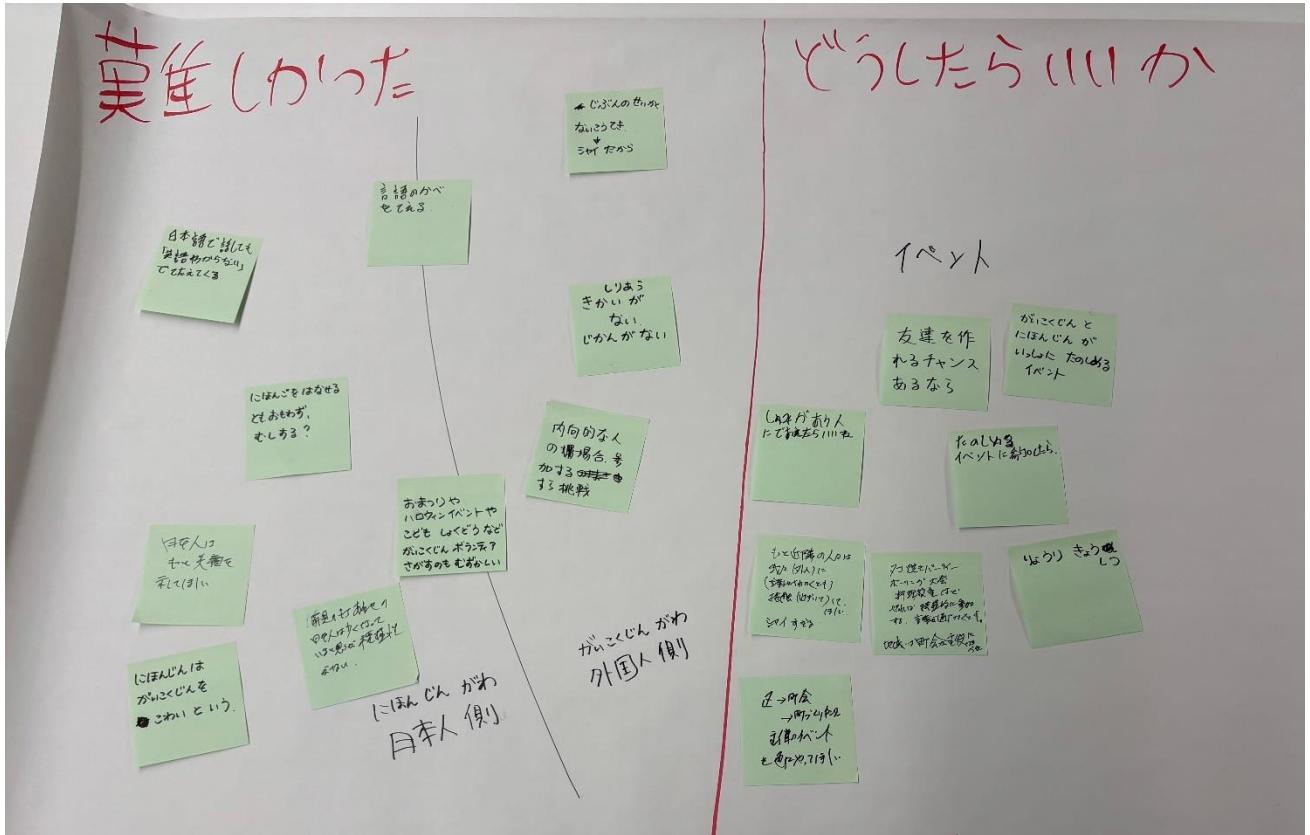


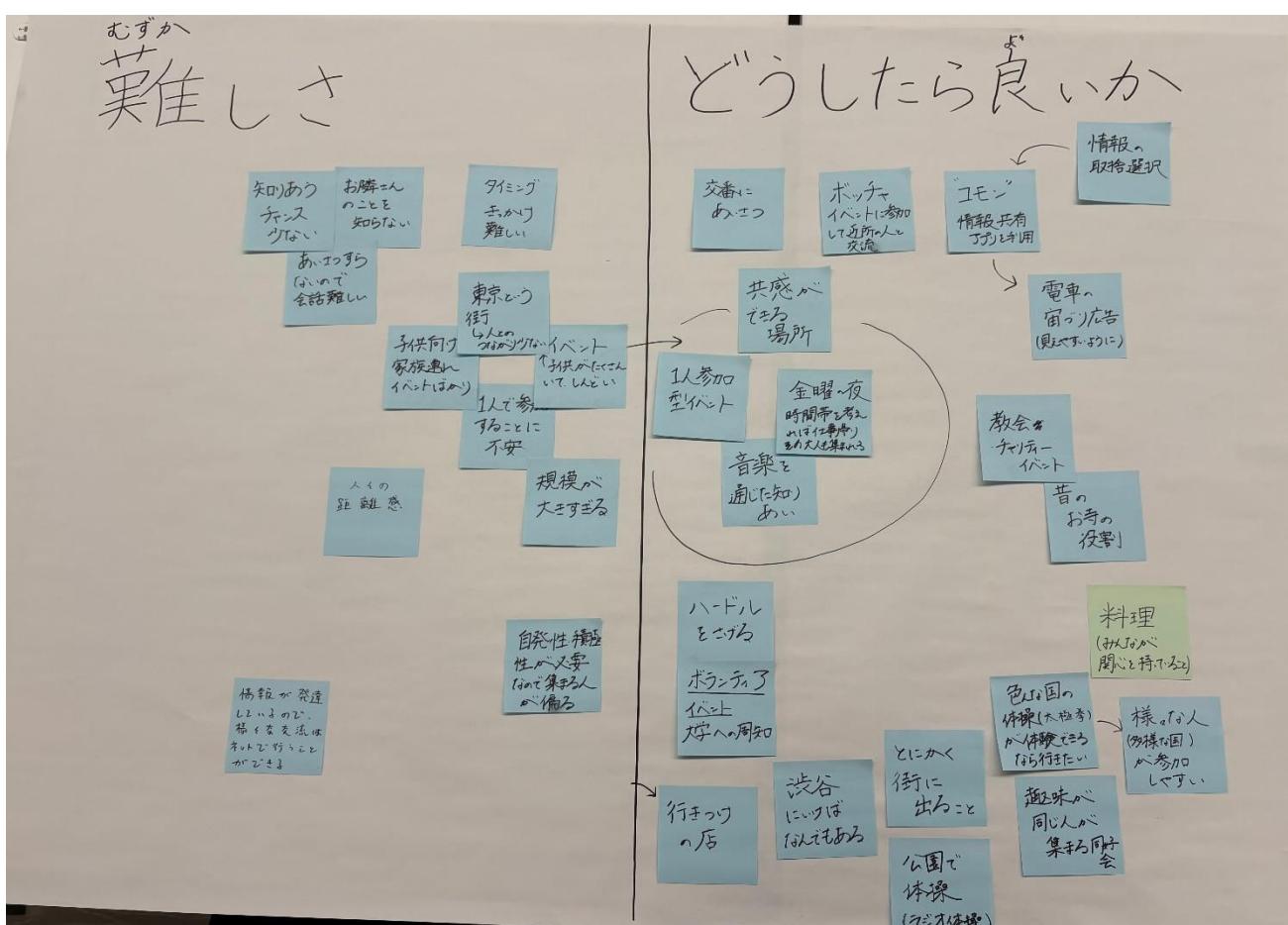
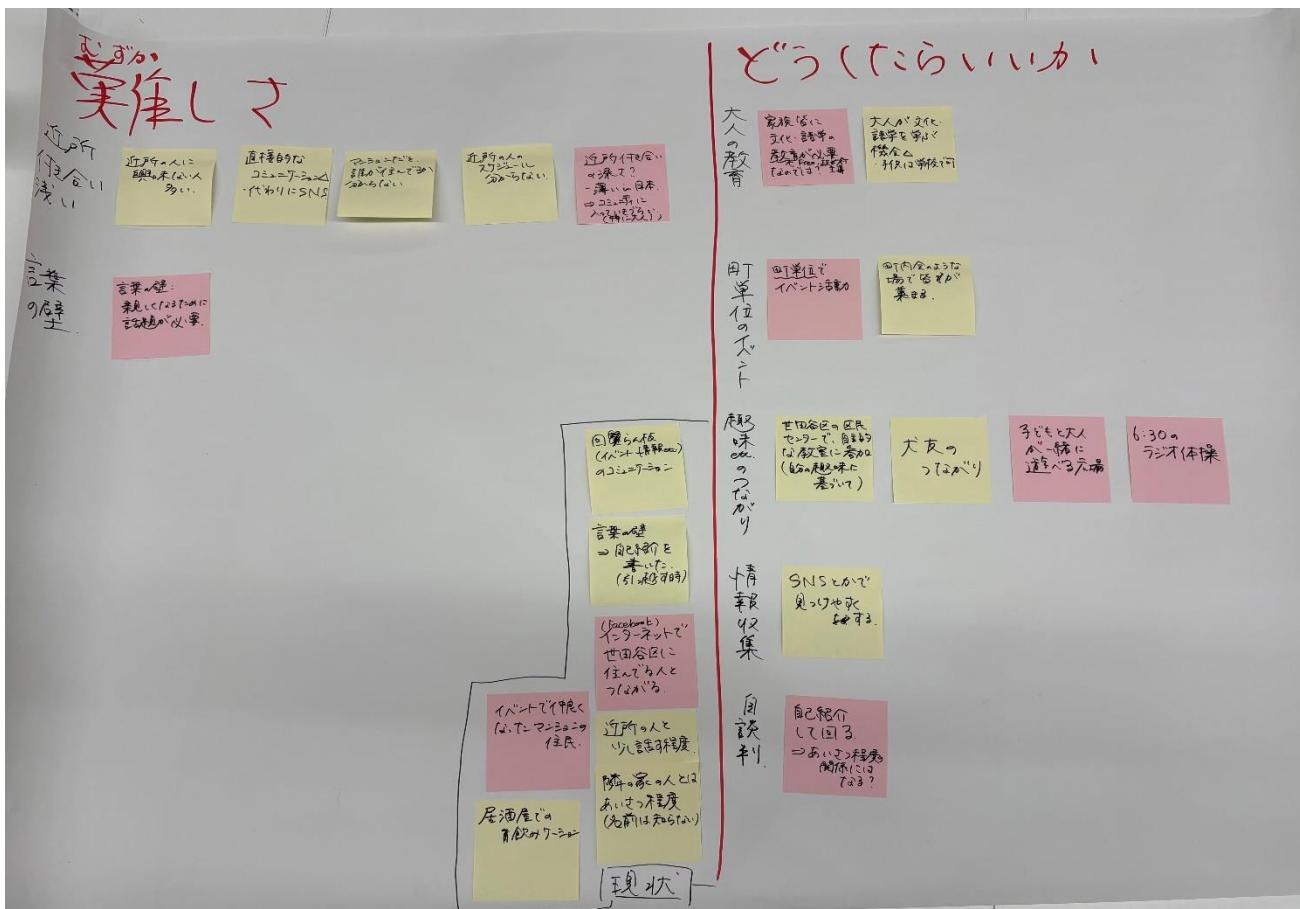
全体の様子

8. グループワークで出た意見

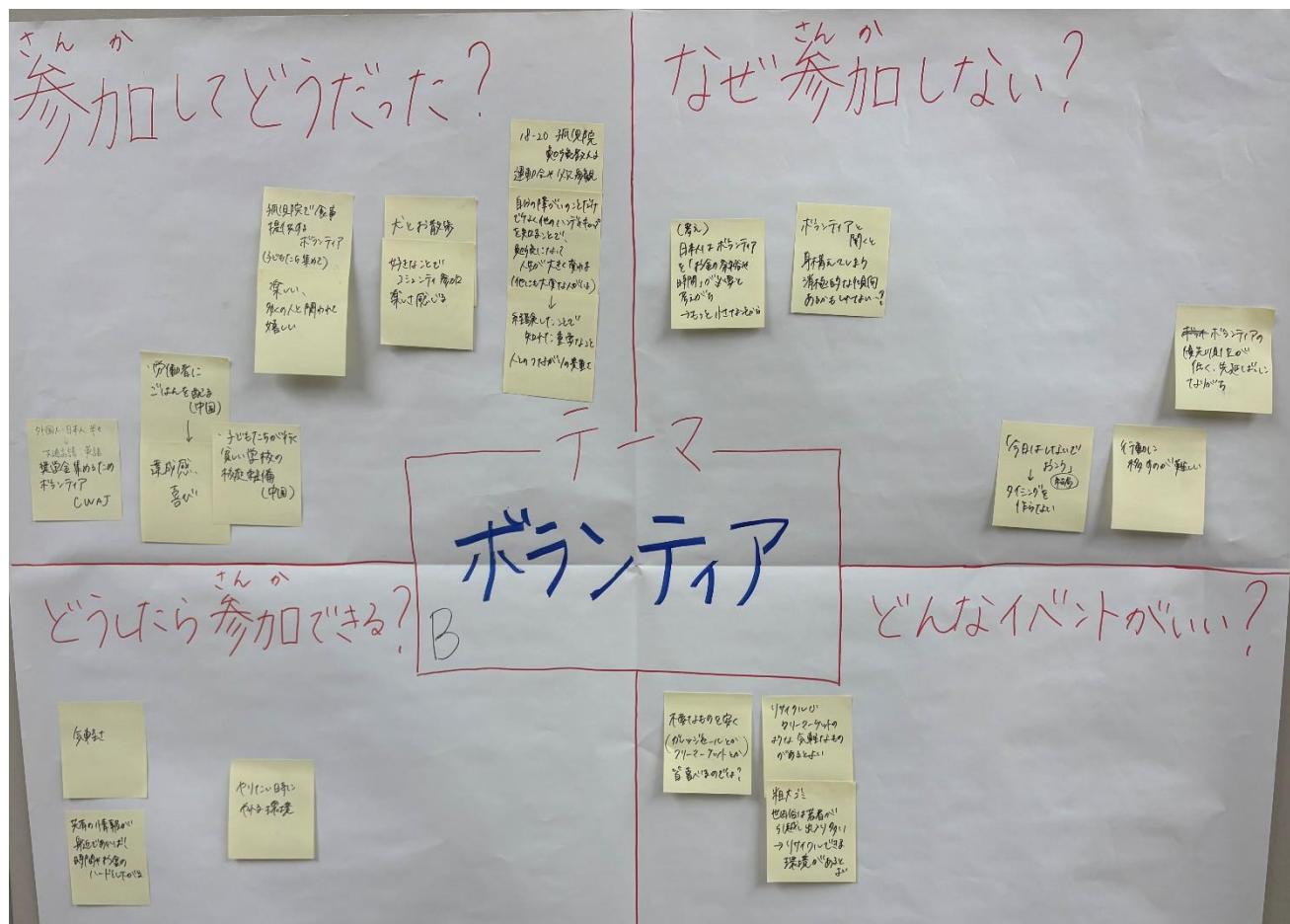
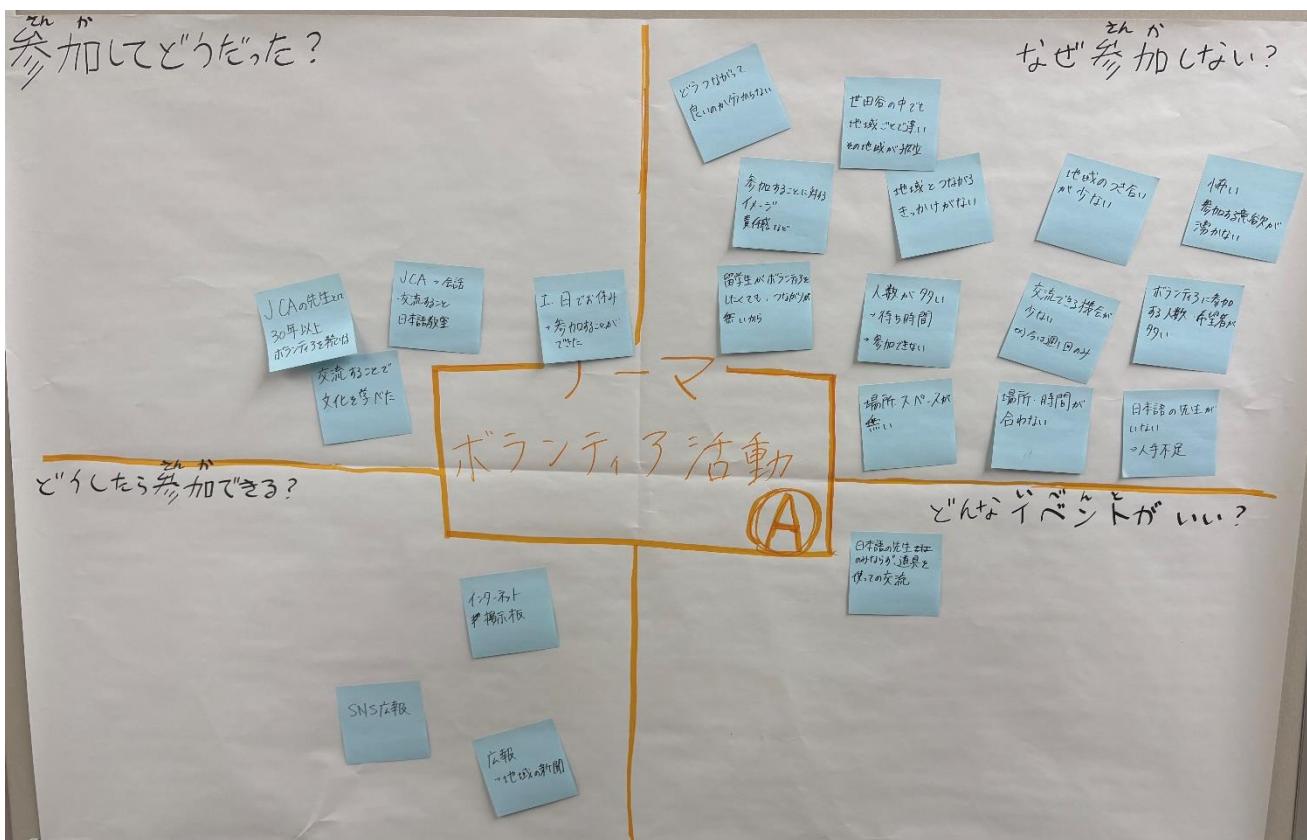
＜各班が考えた「地域で「つながり」をつくるには？」の発表用紙＞

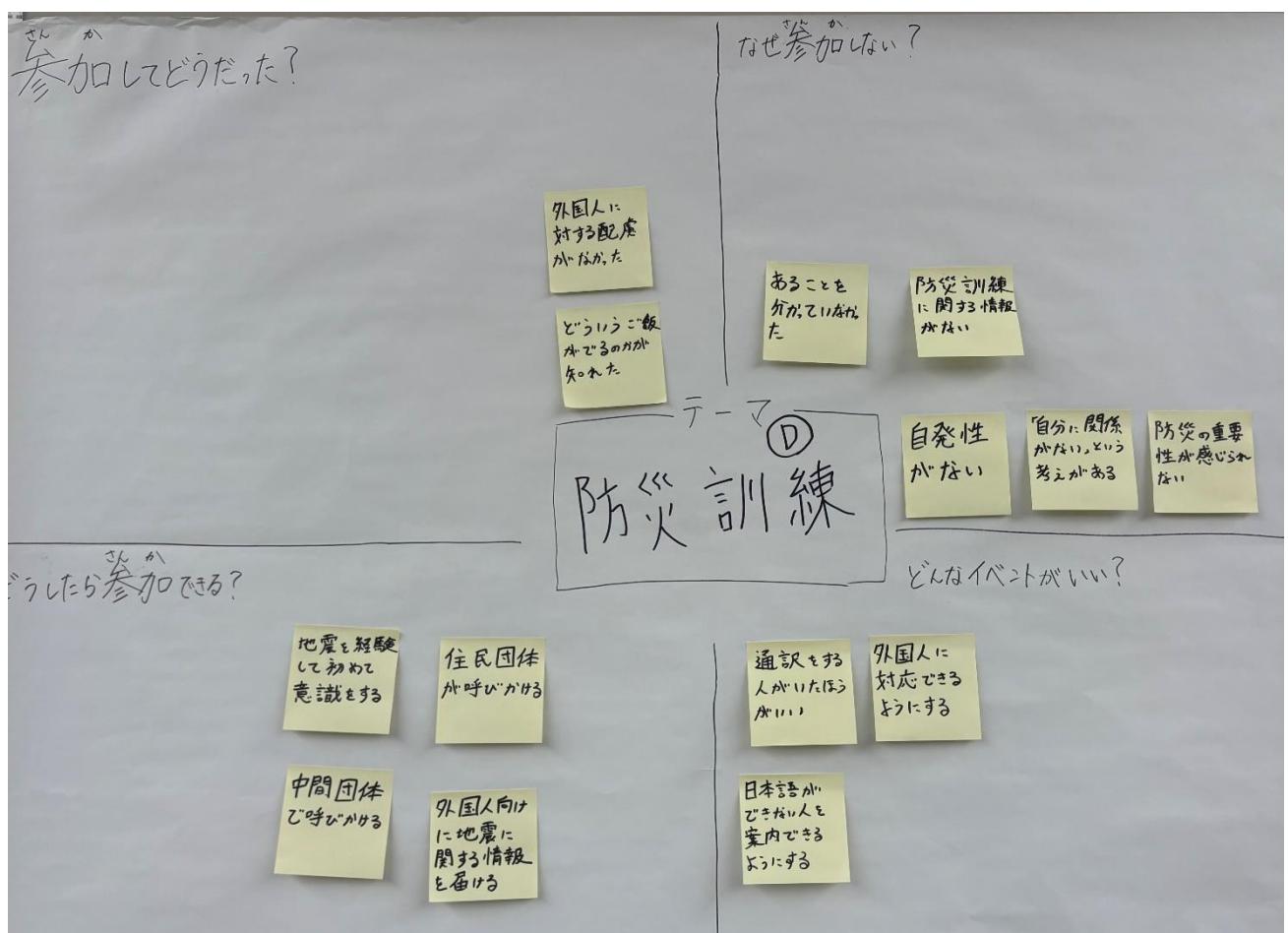
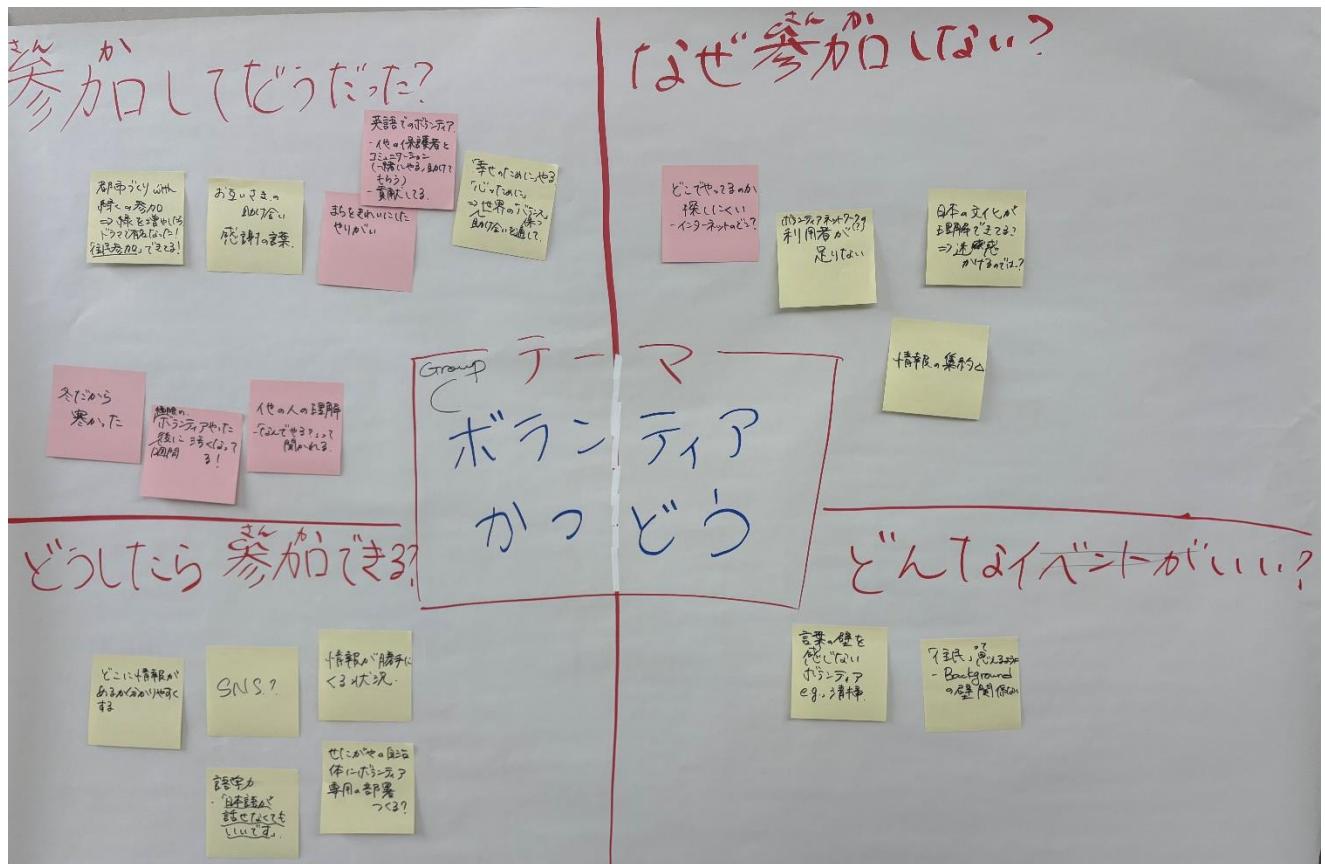


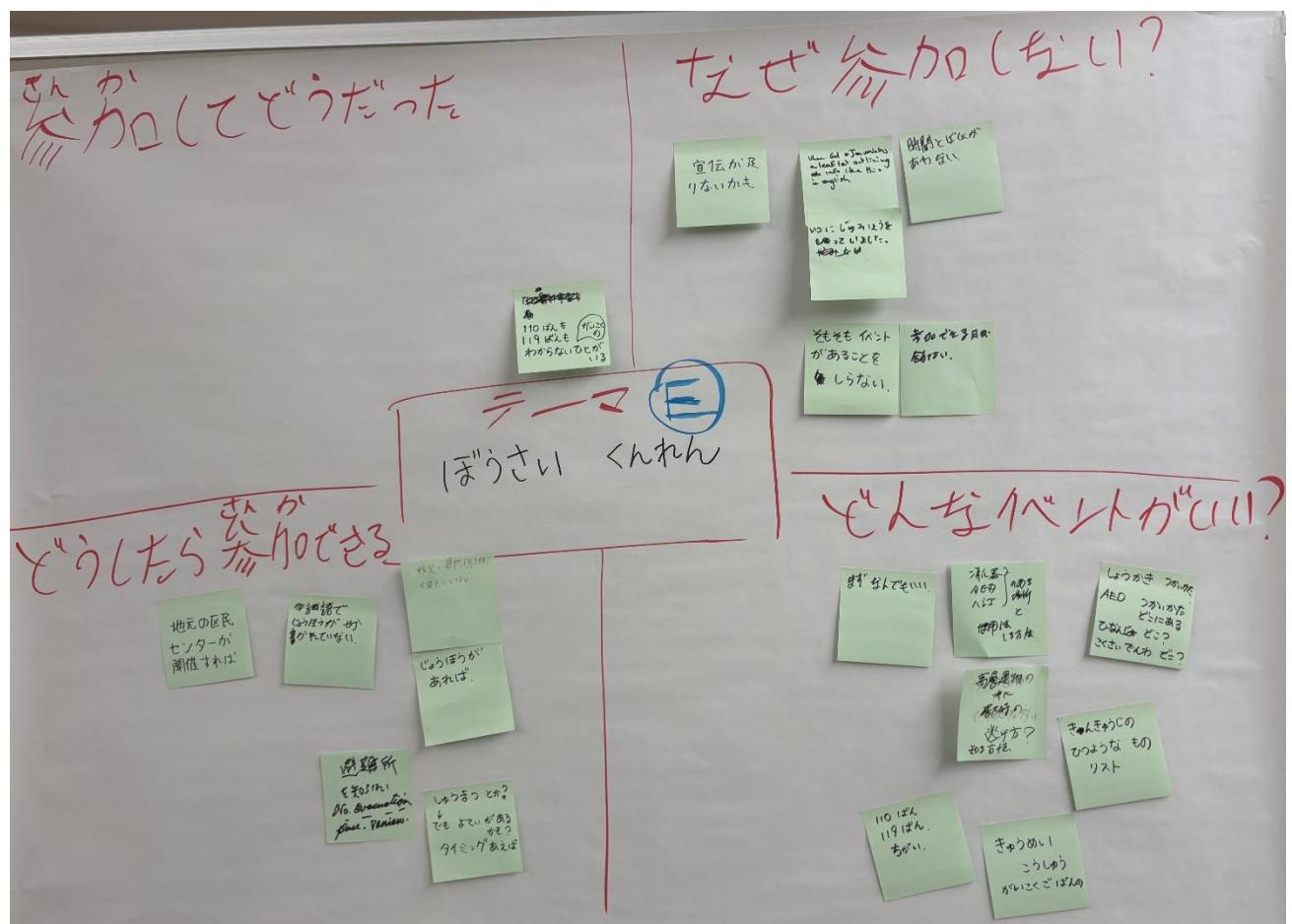
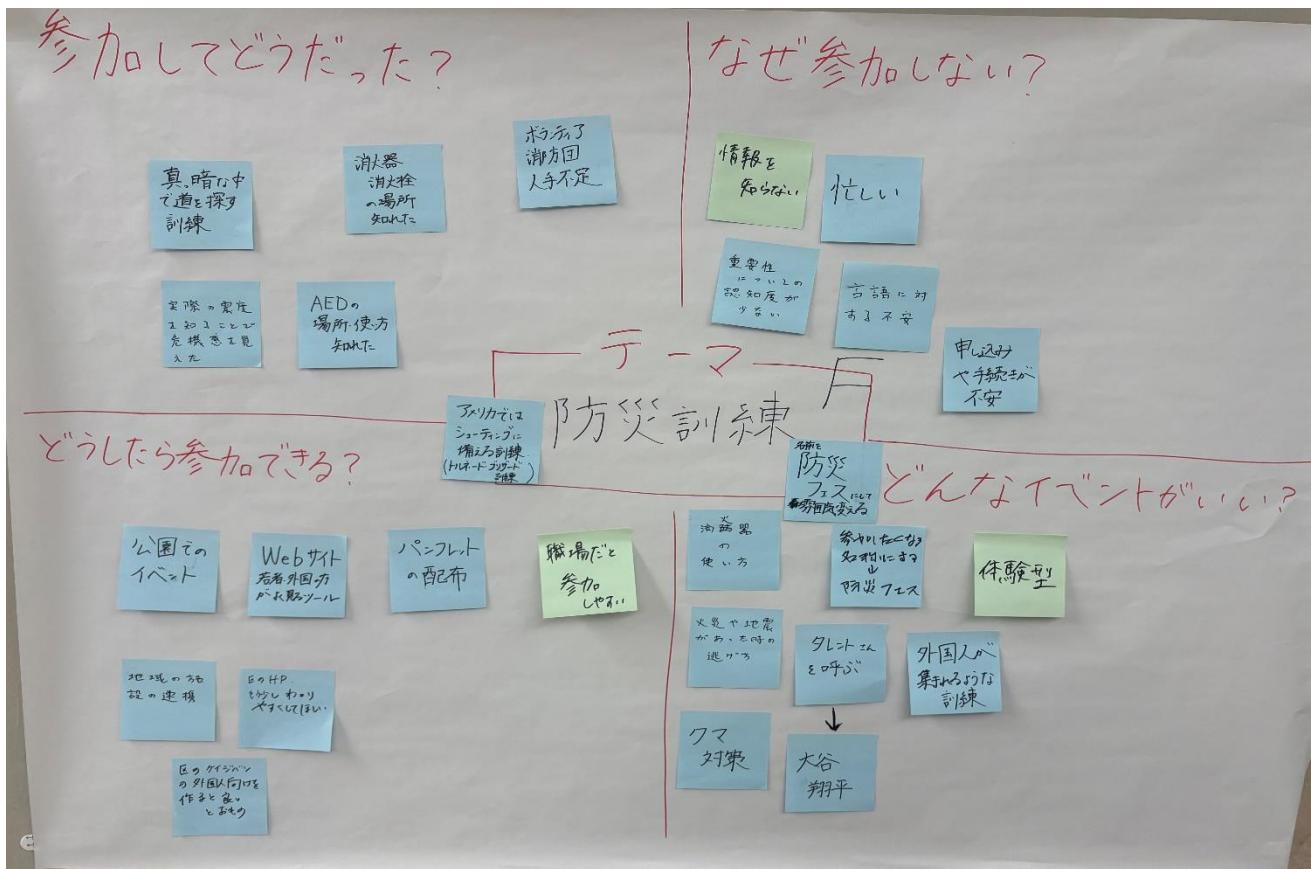




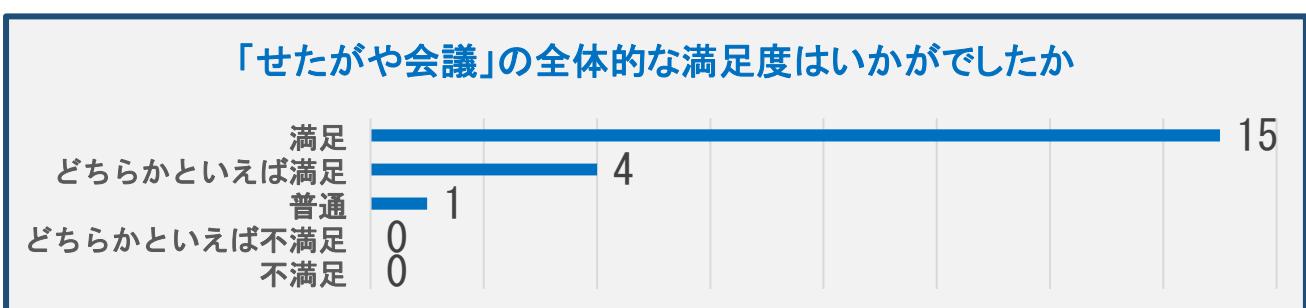
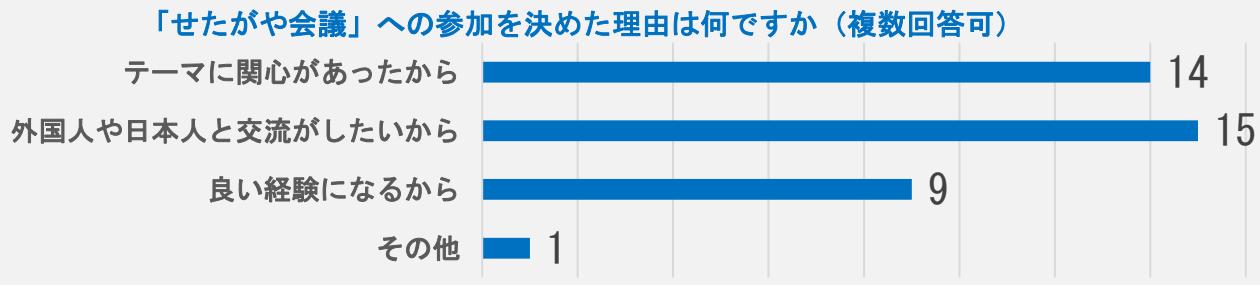
＜各班が考えた「防災訓練またはボランティア活動について」の発表用紙＞







9. 参加者アンケート集計（回答者：20名／22名）



【その他、ご意見・感想等（抜粋）】

- ・外国の方は話すことに勇気が必要だとわかった。日本人のマナーについても、日本語の奥にある意味についても本当にわからないという事実もわかつて、バリアを持たれているのではないかと思っている。
- ・このイベントを開催するために準備が大変だったと思うが、とても良い経験になった。ありがとうございました。
- ・以前クロッシングせたがやスタッフにも伺ったことがあるが、防災に関して日本人向け防災訓練を外国語化すればいいのではなく、ニーズが全く違うので外国人向けの防災講座や救命講座はこれから必要になってくると思う。
- ・大きなイベントでなく定期的につながりを持てる小さな集まりを企画するのもよいかと。
- ・とても良かった。聞いたり話したり気付いたりして面白かった。
- ・有意義だったので、今後も頑張って続けてほしい。
- ・世田谷区の外国人の人と交流する機会はほとんどないので良い企画だと思う。